



学校だより

運動会
特別号

令和6年(2024年)10月28日
門真市立門真小学校
校長 植原 宏仁



【教育目標】 『未来を切り拓く生きる力の育成』

【めざす子ども像】 ○自らねばり強く学ぶ子 ○思いやりのある子 ○自尊心の高い子
○心身ともにたくましく健やかな子

秋晴れの中の運動会

10月20日(日)、門真小学校運動会が、少し涼しさも感じる秋晴れの下実施されました。お忙しい中、来賓の方をはじめ、ご来校いただきました方々には、厚く御礼申し上げます。今年度の運動会は、いかがだったでしょうか。今年度は、練習方法などにおいて、例年と違ったところがありました。まずは、門真小学校がコミュニティスクールになったこともあり、地域の方に運動会の練習から参画していただいた学年があったこと。そして、子ども主体の学びを進めていることから、運動会の練習も子どもに委ねることを取り入れたところです。

団体演技

1年生は、初めての運動会。自分たちで使うポンポンを自分たちで作りました。そして、「完成したもの」を教えてもらうのではなく、「自分たちで考えてつくる」ことを大切に取組みました。練習の中で、友だちに合わせることも学んで、3つの円、1つの円も作ることができました。



2年生は、演技(ダンス)と競技のミックス!ダンスの内容をしっかり覚えたり、競技のルールを覚えることはもちろんですが、気持ちの切り替え方も練習を重ねました。当日が、一番上手にできていました。

3年生と5年生は、地域の方(門真小学校の卒業生で、今はダンスを教えている方)にダンスを教えていただきました。一度来ていただいて教えてもらって、次に来ていただくまでに習ったダンスを自分たちで覚えます。3年生は、ダンスリーダーが積極的に練習に取組み、他の人たちの模範となっていました。5年生は、少し難しい振りもありましたが、休み時間や放課後お家でも練習を重ねることでカッコよく踊れる人が増えていました。



4年生と6年生は子ども主体の練習メニューに取組みました。4年生は、花笠・ソーラン・エイサーを踊りました。この3つの踊りは、動きから隊形まで児童が動画を見て、自分たちで考えました。とても笑顔いっぱい元気に踊っていました。6年生の演技の前半、



南中ソーランは、児童が動画を参考に、グループやペアで練習したりと、自分のペースで習得できるよう練習メニューを考え取組みました。中には、一人でクロムブックと向き合いながら練習している児童もいました。後半の組体操では、1人技からピラミッドまで、数種類の技を披露してくれました。一人ひとりの役割を果たすことで、演技として完成します。一人ひとりが自分の役割を自覚した演技だったと思います。

50m走・80m走・リレー



1年生は、50mを走り切ることが目標でした。全員がしっかりと最後まで走り切ることができました。

2年生は、最後の50m走です。去年よりもしっかりと前を見て走り切ることができていました。1年生からの成長を感じることができました。



3年生は、初めての80m走。カーブでの体の使い方やコースをどのように走るのかが見どころでしたが、ほとんどの人がしっかりと走り切れていました。

4年生は、昨年度に続き80m走でした。体の使い方やコースを走り切る姿は、昨年度からの成長を感じました。特にカーブでの体の傾け方はとても上手でした。



5年生・6年生は、前半後半に分かれての混合リレーでした。リレーになると、バトンのパスやリレーゾーンの使い方など、一気に難易度が上がります。

走るだけのタイムの合計だと各チーム同じぐらいなので差はひらかないはずですが、ちょっとした積み重ねで差がついてしまうリレー、それも醍醐味です。差がつこうがみんな最後まで一生懸命走ることができていました。



各係の活躍

運動会は、5年生・6年生が、役割をもち、運動会の運営にかかわっています。全部で、7つの役割(児童会・準備係・放送係・場内整理係・体育係・出発係・決勝係)がありました。どの係の人も、運動会前から準備や練習をして、運動会当日を迎えました。それぞれの役割・お仕事ご苦労様でした。運動会の運営がスムーズに進んだのは、各係の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

さいごに

当日は場内整理や安全確認、自転車の整理など、PTA役員・学年委員の皆様、自治会長の皆様をはじめ、たくさんの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。そして、保護者の皆様、地域の皆様の温かい応援により、運動会を無事終えることができたことに感謝申し上げます。



学校だより 11月号は、近日中に発行を予定しています。行事予定等は、そちらをご覧ください。